



もえぎ色の新芽を摘む女性たち 18日午前8時半ごろ、島田市阪本

## 島田のハウス茶園 一足早く初摘み

本格的な新茶シーズを前に18日朝、島田市阪本の大家聡さん(72)のハウス茶園で新茶の初摘みが行われた。周辺露地物より約1カ月早いという。初摘みしたのは主力品種の「やぶきた」。近隣農家の女性15人が応援に駆けつけ、約1500平方メートルの茶園で育ったお茶の新芽を手際よく摘み取り、かごに入れていった。

同園の茶は太陽光の熱を地中のパイプに蓄えて、気温が下がる夜間にファンで熱を循環させる「地中熱交換法」で育てた。大塚さんは「今年も味の濃いおいしいお茶ができた。ぜひ味わってほしい」と話した。

摘み取った茶は製茶した後、20日から同市阪本の直売所「お茶のさすき園」で販売する予定。価格は100グラム5千円(税別)の見込み。

(写真部・宮崎隆男)

## もえぎ色新芽つややか

①「もえぎ色」とは、どのような色だと思いますか。写真の新芽を見て答えましょう。

②このお茶はなんといい品種(種類)でしょうか。

2019年3月18日  
夕刊

③もえぎ色の新芽を摘んでいる人たちは、どのような気持ちで摘んでいるのでしょうか。

年 組 名前